



- 調査実施日 2014年1月9日
- 調査場所 カヤオ市ベンタニジャ区の一般家庭
- 調査対象 アグスティン(仮名)さん一家
- 現地通貨ヌエボソル (通称ソル 1米ドル=2.8ソル・2014年1月現在)

アグスティンさん一家



家族	夫 アグスティン(仮名)さん(38歳) 妻 (29歳) 長男 (15歳)
世帯収入	月額 1,950 ソル
職業	文化施設用務員(夫)、家政婦(妻)
休日	日曜(夫)、不定期(妻)
出身地	アンカシュ州カラス郡

アグスティンさん(38歳)

職業 文化施設用務員
月収 1,200 ソル

よく使う交通手段は?
三輪バイク、乗合バス

休暇の過ごし方は?
転居したばかりなので家の修繕などで忙しい。月に一度買い物かねて家族で外食する。

趣味は?
サッカー。同僚とたまに。



買い物スポットは?

食品や日用雑貨類の買い物は妻が担当。大きな電化製品などの買い物は数年計画で資金を貯め、保障のある優良店で正規品を買う。

今欲しいものは?
完成した自宅。

アグスティンさんは、親にも告げずに12歳で単身、山間部の寒村から首都リマに上京。塗装工、倉庫管理員を経て現職に就いて20年が経過した。昨年は職場から最優秀勤務賞を受賞し新型テレビが授与された。昨年、クリスマス直前に念願のマイホームに転居した。一人っ子の長男に十分な教育を施したいと昨年までは予備校にも通わせていたが、現在は経済的な理由で中断。息子も家庭の事情を十分理解して、両親を支えており、将来に明るい展望を描く家族は円満そのものである。

妻(29歳)

職業 家政婦 月収 750 ソル

よく使う交通手段は?
三輪バイク、乗合バス

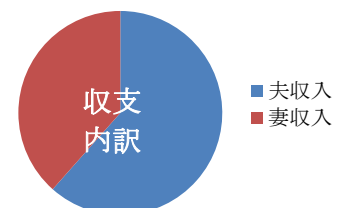
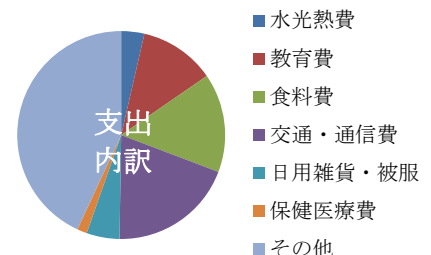
休暇の過ごし方は?
主人と同様、家の修繕などして過ごす。市内に暮らす祖母の家に姉妹と集まることも。

趣味は?
とくにない。



買い物スポットは?
日用雑貨や食品などは近所の伝統市場で購入することが多い。しかし、特売品があれば、スーパーマーケットで買い物することもある。

今欲しいものは?
完成した自宅。



住居 先行投資が的中、夢のマイホームついに実現



アグスティンさん1家は2013年12月18日に念願のマイホームに転居した。5年前に近所を散歩していたアグスティンさんが偶然「売地」の看板を見つけて購入を即決し、土地代金の5年ローンを昨年9月に完済。転居の機会を伺っていた。購入ときに用水路が張り巡らされた農地は、用水路を埋め立てた道路沿いに街灯や電柱が設置された住宅街に変貌を遂げ、道路も舗装化され、公営マーケットも設置されるという。現在の木造家屋は仮設で、資金を貯めて建築資材を揃え、レンガ作りの本格的な家屋を建てるべく計画 중이다、希望に満ちた顔で将来の夢を語ってくれた。

所有の有無	所有
間取り	平屋建て、寝室2、食堂・台所
広さ	敷地面積 200 m ² 、総床面積 50 m ²
居住年数	1 か月
電気	15 ソル/月 隣家とシェア
上水道	15 ソル/月 隣家とシェア
下水道	引き込み完了していない
ガス	ボンベ交換式。36 ソル/月
電話	携帯電話 12 ソル/月×2
インターネット	未整備
ケーブルTV	未整備

テレビ	13 年前に購入 (当時 430 ドル)
冷蔵庫	15 年前に購入 (当時 280 ドル)
洗濯機	なし
ガスコンロ	20 年前に購入 (当時 260 ドル)
ミキサー	なし
ステレオ	5 年前に購入 (当時 560 ドル)
DVD	なし
電子レンジ	贈呈品
アイロン	なし
PC	なし
自動車	なし



未舗装の通りと、地所を隔てる木製の外壁に設えた木戸を開けるアグスティンさん。



ダイニング・キッチン。殺風景だが、清潔に保たれている。



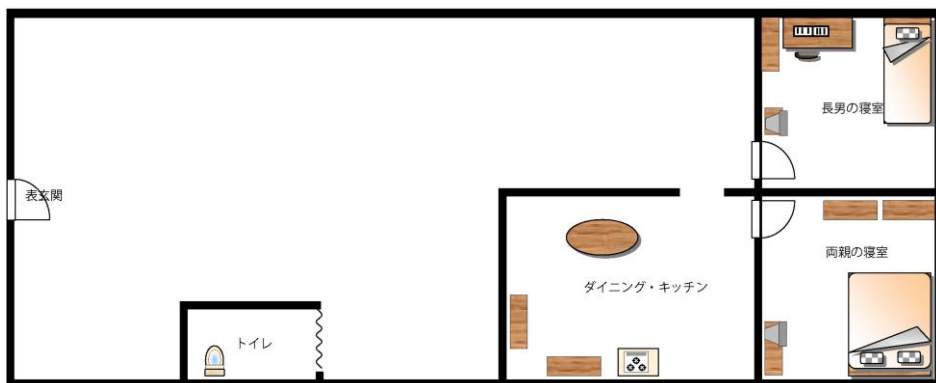
長男の寝室にはコンポーネントステレオが置かれている。



ダイニング・キッチンに置かれたテレビ。



夫婦の寝室。コンクリート打ちの床に木扉とレンガ壁。清掃は行き届いている。



舗装化に向けた整地が進む自宅前の道路。公営マーケットの整備予定地を望む。

JETRO

Copy rights(C) 2014 JETRO. All rights reserved.

高額で購入した冷蔵庫・ガスコンロを長年使用

仮設の木造住宅に設けられた広々としたダイニングキッチンに旧型の冷蔵庫、ガスコンロがまだまだ現役で活躍している。引越しからまだ1か月そこそこであるが、長年両親の実家に置いてあった冷蔵庫とガスコンロを最初から持ち込んだ。

冷蔵庫の中身を見てみよう。まず最上段の冷凍庫には牛スネ塊肉、牛レバー、腸詰など肉各種、中段の冷蔵スペースにはバナナやマンゴーなどの果物、前日の残り、ジャム、ソース類、下段の野菜庫には生鮮牛乳がある。予想以上に食材の種類が豊富だ。

ガスコンロには、共働きの両親に代わり長男が作った昼食の鶏肉と野菜の煮込みスープとご飯が置いてある。スープは冷蔵庫にしまって翌日の朝食になるという。

よく作る料理は、タジャリン・サルタド(炒めスパゲティ)、ロモ・サルタド(牛肉入り野菜炒め)、アヒ・デ・ガジナ(鶏肉クリームシチュー)、エストファード(トマトシチュー)、アロス・コン・ポヨ(鶏肉入りコリンアンダー風味ピラフ)、メネストラ(具沢山のスープ)と多彩だ。朝食はシリアルや牛乳、ヨーグルト(飲むタイプ)、パンとコーヒー、前日の残りのスープなど。昼食は、夫は職場で外食、妻も家政婦の仕事だと賄い飯が出る。

両親が共働きのため、食材は近所の伝統市場で休日に1週間分をまとめ買いする。スーパーマーケットの利用頻度を尋ねると、特売りの商品があっても、つついその他の商品も買ってしまうと、伝統市場と比べて決して割安とはいえないので、滅多に利用しないという話だった。

外食は月に1回ほど。鶏肉の丸焼きが家族3人で30ソル程度。セビチェ(魚介マリネ)なら35ソル程度の出費だという。



上:20年前に新品で買ったオープン付きガスコンロ。当時の購入価格は260ドルで低収入のアグスティンさん一家にとっては高価な買い物。右:同じく15年前に新品で購入した国産メーカーの冷蔵庫。高価な新品を買った理由としてアグスティンさんは、長持ちするので、長い目で見れば割に合うと語った。



上左:譲り物の電子レンジ。現在は故障中だが、食べ掛けの料理や使い掛けの食材を一時的に保管するために使っているという。上右:共働きの両親に代わり長男が作ったライスと鶏肉スープ。ライスは油と塩で軽く味付けするピラフタイプなので圧力がかかる炊飯器は必要ない。料理は昼・夜兼用なので一度に2食分を作ることが多い。

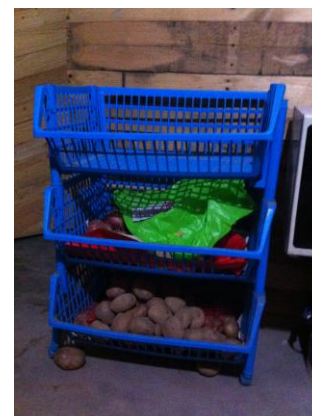
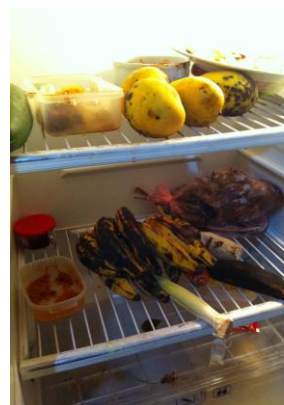


上左:基本食材である塩、醤油、ワインビネガーが並ぶ。中央のピッチャーは煮沸した飲料水用。上右:台所に水道を引いていないため、食事の準備や食器洗いなどの片付けにタライは欠かせない。下水道の引き込みも完了していないので、使い終わった水はアーストイレに流すか、屋外の路上に撒くしかない。



豊かな食材

冷蔵庫の中身をのぞかせてもらった。左上:冷凍庫にはスーパーマーケットで購入したスチロール製パッケージ入りの牛すね肉、牛ハツ、鶏もも肉、腸詰が保管されている。左下:野菜庫にはビニールパック入りの牛乳が入っていた。牛乳は朝食には欠かせない。中央:冷蔵庫にはバナナ、マンゴーなどの果物、使いかけのトゥガラシなどの食材、ジャムなどを保管。右:ジャガイモ、タマネギ、トマトなどは常温で保管している。



タイムテーブル

平日：上

休業日（日曜日）：下

	アグスティンさん	妻	長男
5:00	起床、朝食	起床	
6:00	出勤	出勤（仕事がある時）	起床
7:00		家政婦の仕事は不定期のため	通学
8:00		決まった時間割がない	
9:00			
10:00			
11:00			
12:00			
13:00	昼食（学校近くで外食）	賄い飯（仕事がある時）	弁当
14:00			下校
15:00			帰宅
16:00			夕食の準備
17:00			勉強
18:00			夕食
19:00	帰宅	帰宅（仕事がある時）	勉強
20:00	夕食	夕食	テレビを見る
21:00	テレビを見る		
22:00	就寝	就寝	就寝

	アグスティンさん	妻	長男
8:00			
9:00	起床、朝食	起床、朝食	起床、朝食
10:00			
11:00	家の修繕など	家事	親族と遊ぶ
12:00			
13:00			
14:00			
15:00	昼食	昼食	昼食
16:00			
17:00	家の修繕など	家事	勉強
18:00			
19:00			
20:00	夕食	夕食	夕食
21:00	テレビを見る	テレビを見る	テレビを見る
22:00			
23:00	就寝	就寝	就寝

取材ノート: 家の大黒柱であるアグスティンさんが今回の取材要請に快諾してくれた背景には、ペルー日系人の文化施設で勤務していることが上げられる。若干 12 歳で親元を離れ、生計を立ててきたアグスティンさんにとって、誠実と勤勉で知られるエスニック集団である日系人に認められるということは大きな意味を持つことに強い衝撃を受けた。長い間、家族ともども実家で暮らしてきたが、クリスマス前という忙しい時期に自分と妻の親族の協力を得て現在のマイホームの棟上と転居を決断したのも、この文化施設の勤労賞として大型プラズマテレビを受賞したからであった。ある日帰宅したアグスティンさんは、実家の玄関前で待ち構えていた団体の幹部や職員から祝福を受けたとのことであった。こつこつ貯めでは購入した高額の家電を大事に使い、一人息子には予備校に通わせる両親と、これに応えようと努力する長男の姿には、この国が進むべき方向性が示されているように感じた。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。